

「遺伝研メソッド」による

科学英語プレゼンテーション出前研修

「遺伝研メソッド」とは、国立遺伝学研究所（総研大・生命科学研究科・遺伝学 専攻）で開発された科学プレゼンテーションのカリキュラムです。研究発表のトレーニングを通じて、研究者としての論理的思考力、質問や議論する能力を 培います。学会発表に限らず、面接審査、異分野融合研究などにおいても、研究者のプレゼンテーション能力の向上に成果を上げています。

5日間の研修プログラム

- Fundamental presentation design for optimal feedback
- Importance of the 4-part presentation "framework"
- Convey your message with topic sentences and context
- Constructive scientific dialogue & strategies for asking and answering questions
- Speaking techniques for maximum comprehension: emphasis, logical flow, effective speech patterns and scientific clarity
- Visualized data and effective presentation slides

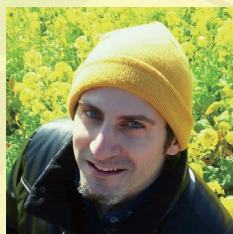
日 時： 3月 2(水) 3(木) 4(金) 8(火) 11(金) の5日間

各回 10:00～13:00

場 所：オンライン講義（zoom使用）

参加費：無料

講 師：



郷丸辰次（ゴウマル タジ）
国立遺伝学研究所 英語専任講師

申 込：<https://ura.sec.tsukuba.ac.jp/archives/35564>

対 象：若手研究者（PD含む）で全ての時間に参加できる方

大学院生および大学生の参加は、指導教員からの推薦があれば可

本研修は、文部科学省の「世界で活躍できる研究者戦略育成事業」として、筑波大学が代表機関をつとめる「大学×国研×企業連携によるトップランナー育成プログラム」実施機関向けに行います。

本件問い合わせ先：

筑波大学 若手研究者育成支援室
transborder-leaders@un.tsukuba.ac.jp

尚、本研修は第19回研究戦略講演会を兼ねております。